

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名【新】働きやすい職場をつくる執務環境改善事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育管理課 管理指導係 電話番号：058-272-1111(内8543)

E-mail：c17784@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,939 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,939	0	0	0	0	0	0	0	9,939
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

全国的に教師不足が指摘され、抜本的に教職の魅力回復させることが喫緊の課題となっており、国は令和6年度からの3年間を集中改革期間とし、各教育委員会に対し、一層実効性のある働き方改革を推進し、できることから速やかに実行していくよう求めている。

こうした中、教職員の働き方改革の更なる加速化を進め、業務の効率化等を進めていく必要がある。

(2) 事業内容

専門アドバイザーによる助言により、職員室等のレイアウトや動線、備品等の職場環境の改善を実施し、働きやすい職場環境を整えることで、職員間のコミュニケーションや業務の効率化を促し、さらには教職の魅力回復にもつなげる。

○対象校 県立学校2校

○必要な経費 執務環境の改善に要する経費（業務委託料及び備品購入費）

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

県立高等学校教員の業務負担の軽減を目的としており、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	15	業務旅費15千円
需用費	30	消耗品費30千円
備品購入費	7,024	3,512千円×2校
委託料	2,870	業務委託料996千円×2校、運搬158千円×2校、処分281千円×2校
合計	9,939	

決定額の考え方

まずは他県の事例集を参考に職場環境改善を図ることとし、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国：教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）

Ⅲ. 今後の教育政策の遂行に当たっての評価・投資等の在り方

(2) 教育投資の在り方

② 各教育段階における教育の質の向上に向けた環境整備

県：教職員の働き方改革プラン2023

2 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

(2) 教職員の心身の健康づくりの支援

(2) 国・他県の状況

国：令和2年度から、学校における働き方の取組事例集において優良事例を紹介

令和5年9月、「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策

(提言)を踏まえた取組の徹底等に関する通知を発出

県：平成30年度、石川県は専門家のアドバイスを受けて職員室のレイアウト変更等を実施

令和5年度、東京都は「職員室の職場改善のための手引き」を作成

(3) 後年度の財政負担

毎年2校程度で事業を実施するため、継続的な財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県立学校の教職員の働き方改革を推進するための事業であり、県が主体となって実施することは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 執務環境の改善により、教員の時間外在校等時間を削減し、教職の魅力回復を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

執務環境の改善のみによる時間外在校等時間の削減時間を計測することは困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>教員の時間外在校等時間を削減し、教職の魅力回復を図るためには、教員が担うべき業務とされている業務の効率化や負担軽減をさらに進めていく必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>専門知識を有する業者に委託して事業実施することにより、業務の効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県立学校に勤務する教職員の時間外在校等時間は新型コロナを契機に大きく減少したものの、新型コロナが一定の収束を迎える中、増加傾向にある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も他校において順次執務環境の改善を図っていくことにより、業務の効率化や負担軽減を図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	